

HAKUBAVALLEY TOURISM
令和元年度活動状況報告書
【Annual Report 2019-20】



一般社団法人 HAKUBAVALLEY TOURISM

目次

- ◆ご挨拶
- ◆設立から今日まで
- ◆戦略と活動状況
 - ・インバウンドツーリズムと白馬エリアの概況
 - ・ HAKUBA VALLEYの戦略
 - ・ 活動状況
- ◆KPI(主要成長目標指数)
- ◆予算概要

ご挨拶

- コロナ問題は未曾有の難局を迎えており、まずは皆様のご無事をお祈り申し上げます。
- さて、一般社団法人HAKUBAVALLEY TOURISMは、白馬バレー索道事業者プロモーションボード(以下HVPBといいます)を母体に、大町市・白馬村・小谷村で平成31年4月に設立した広域DMO(観光地域づくり法人)です。令和元年6月には長野県から重点指定広域DMOに、同8月には観光庁から日本版DMOに指定されました。
- 白馬バレーを『世界から選ばれる山岳観光地域』にすることが我々の目標です。『観光の三市村統合』を通し、国内外から通年の集客を目指しております。
- 集客・接客・開発のミッションを掲げ、この1年間活動をして参りました。その内容をご報告いたします。地域の安全に配慮しつつ、今後の飛躍の準備も行いたい所存です。
- 尚、コロナ問題の影響は見極め困難な状況で、コロナ前の状況に即かつ完全に戻るとは考えにくいと思います。一旦、本書はコロナ前の前提で記載させて頂きましたが、前提条件の再設定も視野に入れ、既存業務を因数分解し業務毎に状況に応じて量・速度を調整できる体制を整備する考えです。
- 今後共、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

令和2年5月

一般社団法人 HAKUBAVALLEY TOURISM
代表理事 高梨 光



設立から今日まで

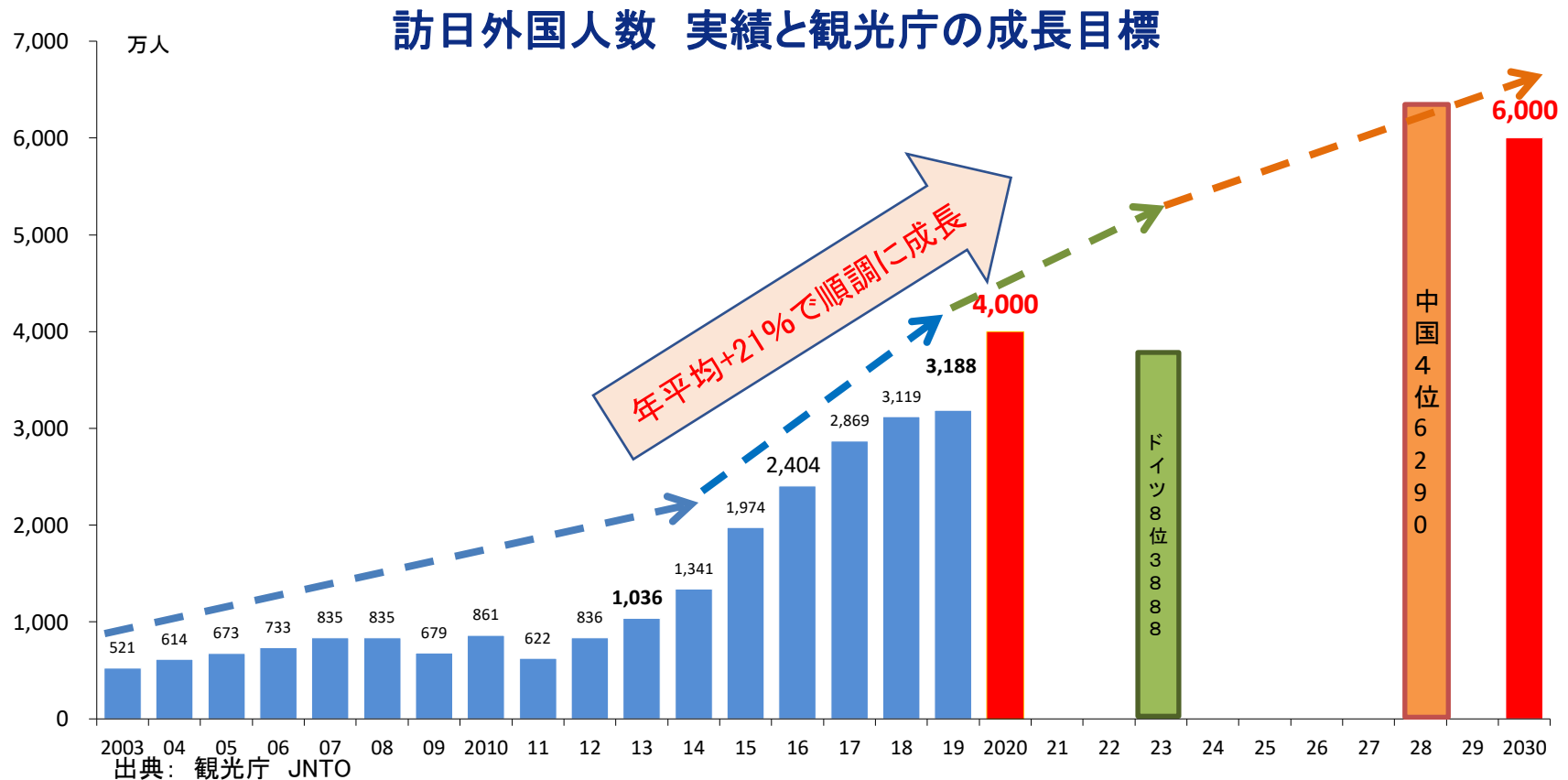
- 19年4月 3日 一社) HAKUBAVALLEY TOURISM 設立
- 4月16日 設立総会開催
- 6月20日 長野県が重点指定広域DMOに指定
- 8月 7日 観光庁が日本版DMOに指定
- 9月 9日 アドバイザリーボード設立
- 10月31日 専門委員会設立(集客委員会・接客委員会)
- 11月以降 各種専門員会小委員会順次設立
 - 毎月第三木曜日: 役員会・アドバイザリーボード幹事会
 - 毎月第三水曜日: 集客委員会・接客委員会
 - 別途、各専門小委員会を開催
- 20年3月31日 令和元年度(第一期)決算期日

目次

- ◆ご挨拶
- ◆設立から今日まで
- ◆戦略と活動状況
 - ・インバウンドツーリズムと白馬エリアの概況
 - ・HAKUBA VALLEYの戦略
 - ・活動状況
- ◆HAKUBA VALLEY TOURISM のKPI(主要成長目標指数)
- ◆予算概算概要

国全体のインバウンド獲得目標と昨今の推移

- 近年の成長スピードは著しく、**2019年には3,188万人**を達成
- 観光庁の目標は、**2020年に4,000万人、2030年に6,000万人**に上方修正



HVTの母体組織である HAKUBA VALLEY 索道事業者Promotion Boardの実績

共通チケットのIC化、ウェブショップ



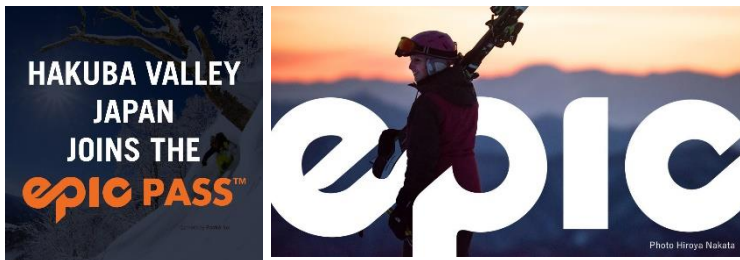
- 全スキー場共通自動改札システムの導入
- ウェブショップを開設、事前決裁が可能に
- 今期、自動券売機を導入、窓口へ立寄らずにチケットの受け取りが可能 ※一部スキー場

シャトルバスの運行



- 全てのスキー場、エリア内主要施設を網羅
- 共通チケットの提示により無料乗車が可能
- HAKUBA VALLEYアプリの開発、お客様にリアルタイムな接近情報を配信

海外リゾートとのアライアンス・EPIC PASS



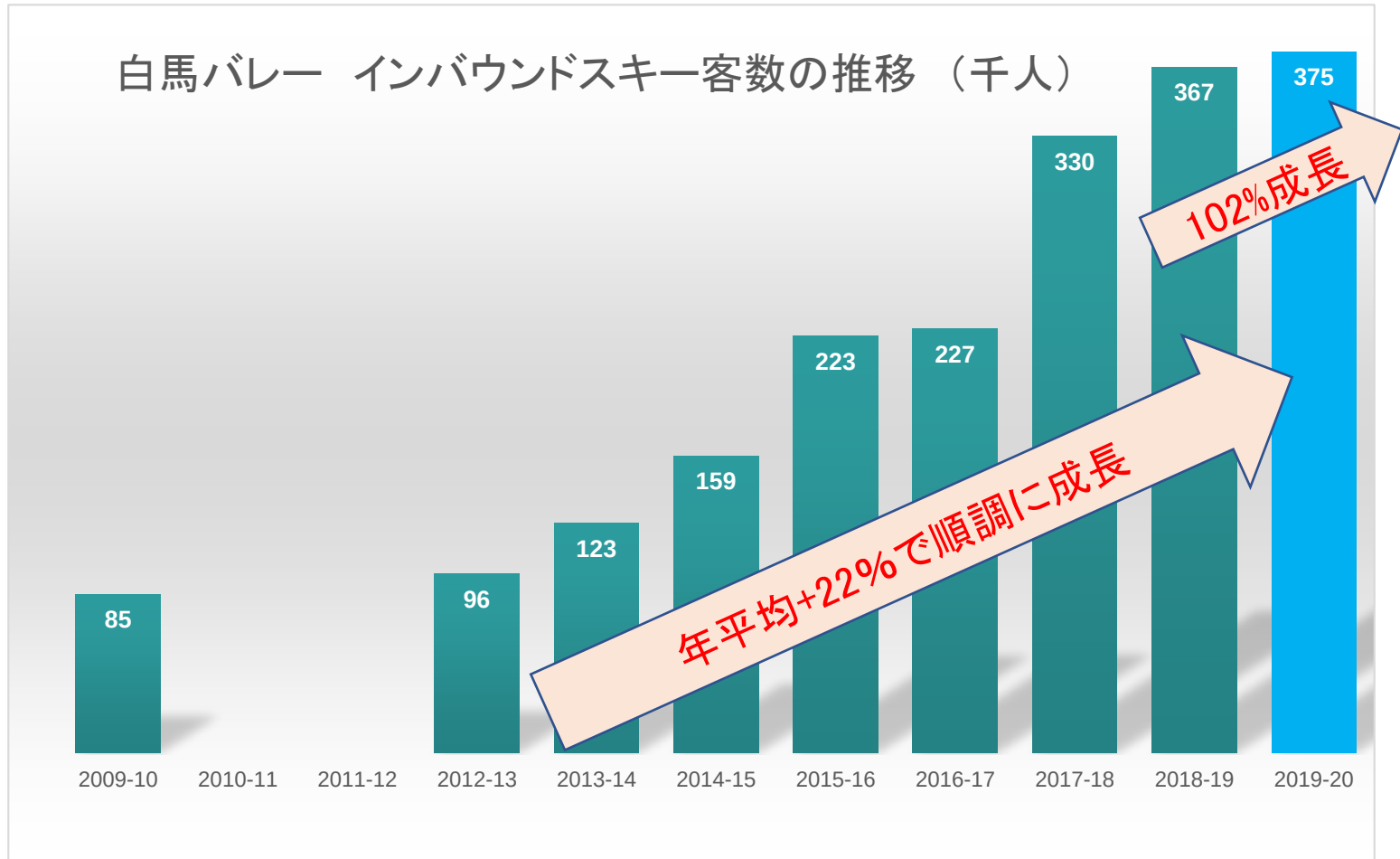
- 2018-19シーズンより米国Vail Resorts社と長期アライアンス契約を締結
- パスホルダーの受入れ、マーケティングの連動

海外プロモーション



- 全10スキー場、宿泊施設、ランドオペレータなどと連動し、効率的なプロモーションを実施
- 旅行者の認知・来訪意欲向上のため、特にデジタルマーケティングを強化

”HAKUBA VALLEY”でプロモーション展開しインバウンド客が急増。
 本年も記録的小雪とコロナ問題のもとでも成長を確保。



注：白馬バレーは、爺が岳、鹿島槍、さのさか、五竜、47、八方尾根、岩岳、栂池高原、白馬乗鞍、コルチナの10スキー場で構成

出典：Hakuba Valley 索道事業者Promotion Board（以下HVPBという）調べ

目次

- ◆ご挨拶
- ◆設立から今日まで
- ◆戦略と活動状況
 - ・インバウンドツーリズムと白馬エリアの概況
 - ・ HAKUBA VALLEYの戦略
 - ・ 活動状況
- ◆HAKUBA VALLEY TOURISM のKPI(主要成長目標指数)
- ◆予算概算概要

HAKUBAVALLEYの戦略

観光資源・設備を整備・開発しながら情報発信して集客

先行して三市村統合したHVPBを核に、地域連携DMOとしてHAKUBAVALLEY TOURIMを設立し**官民共同対応策**を構築

- (1)三市村内の組織を官民ハイブリッド化で機能面から再編し、**【観光の三市村の統合】**を目指します。
- (2)具体的課題・目標設定し**【専門小委員会】**を順次組成して、ハード・ソフトの再整備・開発を推進します。
- (3)県内唯一の**【重点支援広域DMO】**指定を活用し、県と密接に連携して業務を推進します。

HAKUBAVALLEYの戦略 – コンセプトと3つのミッション

①集客(マーケティング)

共通パンフレット
 営業調整
 共通バックカントリールール
 顧客データ収集・分析
 海外アライアンス
 ワンストップ予約システム

(太字は着手済)



②接客(ホスピタリティ)

共通ホームページ
 SDGs
 多言語対応
 アクティビティ予約・案内アプリ
 WIFI・キャッシュレス対応
 イベント・アメニティ

コンセプト: 世界から選ばれる山岳観光地域の構築



景観デザインコード
 サイクルトレイル
 二次交通整備
 スキー場再整備
 宿泊施設開発・街並整備
 夏期施設・商業施設開発

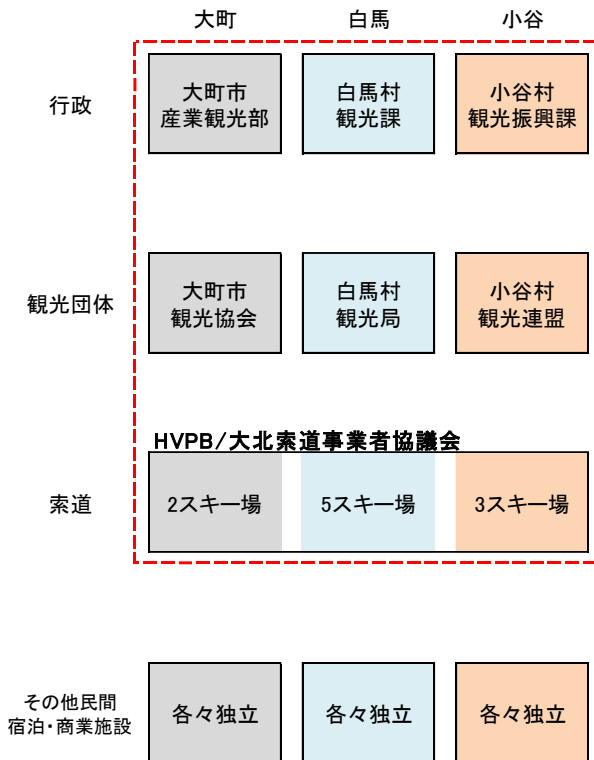


③開発・再整備 (含む国県支援誘導)

HAKUBA VALLEYの戦略

三市村組織を官民ハイブリッド化した地域連携DMOを設立し機能面を再編します。**【観光の三市村統合】**が目標です。

再編前【縦割組織】



三市村内
機能別
ハイブリッド
再編成

再編後【機能分担し観光の三市村統合】

組織名称	構成員	役割		
HVT理事会	三市村長 ・索道会社役員	重要事項意思決定		
HVT役員会	三市村観光課長 ・観光団体・索道	意思決定・スケジュール管理		
集客委員会 (来場前対応) : Marketing Group	三市村官民混成 (索道・宿泊・料飲物販)	広告宣伝	販売促進	マーケティング
接客委員会 (来場後対応) : Hospitality Group	三市村官民混成 (索道・宿泊・料飲物販)	インフォメ イベント	二次交通	設備整備

外部組織

アドバイザー・ボード	県・県振興局 ・県観光機構・三市村	HVTへの客観的アドバイス
同幹事会	同部課長級+	予算編成 情報提供 アドバイス

HAKUBA VALLEYの戦略－専門委員会の設立

- 官民ハイブリッドの専門委員会(実行部隊)とし、来場前対応の集客委員会と来場後対応の接客委員会を設立しました。各々、月1回計7回ずつ委員会の会議を開催しました。

集客委員会			接客委員会		
委員長	伊藤 英喜	株式会社五竜	委員長	福島 洋次郎	白馬村観光局
副委員長	白河 和也	株式会社白馬フォーティセブン	副委員長	成沢 隼人	株式会社北アルプスブルワリー
大町	松倉 康治	大町市産業観光部観光課	大町	青島貴哉	大町市観光課
	遠藤 美湖	立山プリンスホテル		田中 亮	黒部観光ホテル
白馬	吉沢 紘一	白馬村観光局	白馬	新路 祐也	白馬村観光局
	丸山 一馬	樅の木ホテル		堀 勇	株式会社SPICY
	ケビン・モラード	JHN Travel Ltd		丸山 俊郎	しろうま荘
小谷	小川 大二郎	拇池高原観光協会	小谷	小川 大二郎	拇池高原観光協会
	横澤 匠	(一社) 小谷村観光連盟		佐野 圭二	奥白馬高原開発株式会社
索道	戸田 峻也	株式会社鹿島槍	索道	西沢 勇人	株式会社鹿島槍
	太田 悟	白馬観光開発株式会社		坪井 勇人	株式会社五竜
				太田 賢治	株式会社白馬アルプスホテル

- 上記メンバーを中心に次頁の小委員会を組成しました。

HAKUBAVALLEYの戦略－専門小委員会の設立

専門小委員会を7つ組成し、16-17頁記載した形成計画への個別対応の実務を開始しました。

1. 集客 共通パンフレット
2. 集客 営業調整
3. 集客 共通バックカントリールール
4. 接客 共通ホームページ
5. 接客 SDGs
6. 開発 サイクルトレイル
7. 開発 景観デザインコード

以下、必要に応じて順次組成する予定です。

目次

- ◆ご挨拶
- ◆設立から今日まで
- ◆戦略と活動状況
 - ・インバウンドツーリズムと白馬エリアの概況
 - ・HAKUBA VALLEYの戦略
 - ・活動状況
- ◆HAKUBA VALLEY TOURISM のKPI(主要成長目標指数)
- ◆予算概算概要

活動状況：広域型DMO形成計画（中期計画）の進捗

HVT内に**専門小委員会**を設立したり、HVPBや白馬村観光局と連携し対応中です。

施策		中期計画上の主要な取組 と HVTの対応(赤文字)
ブランディング		観光資源の優位性のみならず、バイオマス等クリーンエネルギー利用等のサステナブルツーリズム実践地域のブランドイメージの発信 ⇒ SDGs小委員会で検討中 ファンとのコミュニケーション
コンテンツの磨き上げ	1 オールインワン型スノーリゾートの実現	エリアホームページの整備 ⇒HP小委員会で.comを再整備中
		エリア周遊バスの体制整備・拡充 ⇒HVPBで対応中
	2 世界的な山岳自転車環境整備	イベント、大会の開催・誘致
		MTBコースの整備 ⇒サイクルトレイル小委員会で検討中
		周遊モデルコースの設定 ⇒同上
		コース情報の集約・発信 ⇒HP/パンフレット小委員会で対応中
	3 山岳エコツーリズムの振興	山岳エコツーリズム情報の集約案内 ⇒SDGs小委員会で検討
		ネイチャーガイドの拡充
		高品質ガイド商品の開発
		バックカントリーエリア統ルール策定 ⇒同小委員会で策定中
		山岳観光地(植物園等)の受入施設の整備促進
		山岳観光の拠点整備

活動状況：広域型DMO形成計画（中期計画）の進捗

観光地経営のベースの引き上げ

1 滞在するだけで 楽しい「まち」づくり	飲食店のカテゴリ別情報案内	⇒HP小委員会で検討中
	宿泊施設のカテゴリ別情報案内	⇒HP小委員会で検討中
	統一案内標識(ピクト)の整備	⇒景観デザインコード小委員会で検討中
	日本文化が感じられる街並み整備	⇒同上+岩岳新田再開発
	多言語対応のインフォメーション機能整備	⇒景観デザインコード小委員会が看板整備事業で対応予定
	電柱地下埋設化含めた景観形成の推進	⇒県白馬駅前事業実施中
2 世界からの 顧客受入環境整備	クレジット／電子マネーの決済促進	
	Wi-Fiの整備	⇒国交省国まち歩き事業+県事業+村事業 で推進中
	ワンストップによる予約システムの整備	⇒HVPBで検討中
	ユニバーサル環境の整備	
	エリアを案内するモバイルアプリの開発	⇒白馬村観光局と連携予定
3 エリア全体の コントロール推進	老朽化した索道施設の再整備	⇒観光庁補助事業にHVT主体で応募
	エリア内各観光団体の調整・コントロール体制の構築	⇒実施中
	顧客データの集約・共有・管理	⇒HVPB事務局で実施中
	観光コンテンツの開発促進	⇒民間開発を一部支援中
	顧客データ収集システムの運用、システムの改修、バージョンアップ (平成28～30年度地方創生推進交付金事業)	⇒HVPBと連携中
	安全・安心な観光地づくりの促進	

活動状況(HVT第1期:20年3月期)

各専門小委員会の活動実績は以下の通りです。

()内は小委員会と準備会の開催回数です。

1. 共通パンフレット:19年12月作成開始。(2回)
2. 営業調整:20年1月HV内企業間で営業先を分担開始。(3回)
3. 共通バックカントリールール:20年1月策定開始(6回)
4. 共通ホームページ:20年3月作成開始(1回)
5. SDGs:20年3月アクションプラン検討開始(3回)
6. サイクルトレイル:20年4月マスタープラン検討開始(20年4月より小委員会開始)
7. 景観デザインコード:19年12月検討開始。20年3月コンペ実施し業者選定。(20年4月より小委員会開始)

活動予定(HVT第2期:21年3月期)

各専門小委員会の活動予定は以下の通りです。

1. **共通パンフレット**:20年5月夏版作成完了。冬版検討開始。
2. **営業調整**:昨年開始したHV内国内外営業先分担を継続。
3. **共通バックカントリールール**:8月策定完了予定。
4. **共通ホームページ**:6月hakubavalley.com 公開完了予定。
5. **SDGs**:8月アクションプラン策定完了予定。
6. **サイクルトレイル**:マスタープラン継続検討。
7. **景観デザインコード**:5月コンペで選定した業者に業務発注。
8月コード策定完了後、21年3月にコードに沿ったサイン類
建設を予定。

各委員会の詳細は次頁以降にてご説明いたします。

活動状況詳細①

◆ 共通パンフレット作成小委員会

・メンバー

委員長: 白馬村観光局 吉沢紘一

・目的

現況白馬バレー10スキー場、各観光団体他の作成しているパンフレットの種類が多く、お客様の視点から煩雑である。
HV全体の概要が把握可能な総合パンフレットを夏冬ともに作成する。
また、デジタルブローシャー化や共通HPとの連動も視野に入れる。

・スケジュール

夏版: 20年5月作成

冬版: 20年11月作成予定



活動状況詳細②

◆営業調整小委員会

- ・メンバー

委員長: 白馬観光開発(株) 太田 悟

- ・目的

現況白馬バレー10スキー場、観光団体、宿泊施設、旅行エージェントが個別に国内外に営業活動を行っている。結果的に営業先に関して複数団体の重複や逆に漏れが生じている場合もある。

今期は特に、【B to Cのイベント出展】について、事前に各社の営業先を確認し調整することで最適効率を目指す。

- ・スケジュール

20年1月各社の営業訪問予定を確認。以後定期的に調整会議を実施。

活動状況詳細③

◆統一バックカントリールール作成小委員会

・メンバー

委員長: 八方尾根パトロール隊長 石原洋一郎

副委員長: 五竜パトロール隊長 岩本 智

委員: 県警、県市村、山案内人組合、各スキー場パトロール隊長他

監修: NPO雪崩ネットワーク代表 出川あずさ氏

・目的

現況白馬バレー10スキー場のバックカントリーのルールは市村によって異なっており、その統一化と共により安全なルールを策定する。

・スケジュール

19年11月から月1度程度委員会開催し作業継続、20年8月に完成予定。
新潟市坂東法律事務所による法的アドバイスも予定。

活動状況詳細④

◆ 共通ホームページ作成小委員会

・メンバー

委員長: 杵池高原観光協会 小川大二郎
及び白馬村観光局 事務局長 福島洋次郎

・目的

現況HV10スキー場、各観光団体他のホームページが多く煩雑である。
HV全体の概要が把握可能な総合ホームページを夏冬ともに作成する。
また、統一パンフレットとの連動も配慮する。

・スケジュール

夏版: 20年7月目標で新規作成

冬版: 20年11月目標で既存hakubavalley.comをリニューアル

活動状況詳細⑤

◆SDGs小委員会

・メンバー

委員長 : 白馬SDGsラボ 共同代表 草本朋子

副委員長: 白馬SDGsラボ 共同代表 渡邊宏太

監 修 : POW (Protect Our Winter)

・目的

HVTにおいてもSDGs的な考え方を実践するため、17項目の中からどれを題材にするかを選定し、具体的な実践の方法を決定する。

・スケジュール

概ね8月には大まかな方向性を決定し、具体的な行動案を策定。

活動状況詳細⑥

◆サイクルトレイル計画小委員会

- ・メンバー

委員長:(株)スパイシー 堀 勇 氏

監 修:未定

- ・目的

三市村の現存施設と新規開発可能な地域を選定、事業モデルの想定
マスタープランの策定を進める。自転車とトレイルランの融合も検討する。

- ・スケジュール

20年4月から定期的な検討会を開始。



活動状況詳細⑦

◆景観デザインコード策定小委員会

・メンバー

委員長：HVT高梨 光 監修：学識経験者、UDC信州

・目的

三市村各々は景観規制団体に移行準備中であるが、現在白馬バレー内に景観デザインコードは存在していない。三市村各々の景観計画に連動した景観デザインコード策定することで、サイン類統一とストリートファニチャ類に一定の基本ルールを定める。

北アルプスを始めとする自然資源と景観的に調和したエリアにすることで白馬バレー地域の価値を高める。

・スケジュール

20年5月：業者選定し発注

（GK設計・ナグモデザインの協業体）

8月：景観デザインコード策定完了予定

21年3月：コード準拠のサイン類を一部施工予定



目次

- ◆ご挨拶
- ◆設立から今日まで
- ◆戦略と活動状況
 - ・インバウンドツーリズムと白馬エリアの概況
 - ・ HAKUBA VALLEYの戦略
 - ・ 活動状況
- ◆KPI(主要成長目標指数)
- ◆予算概要

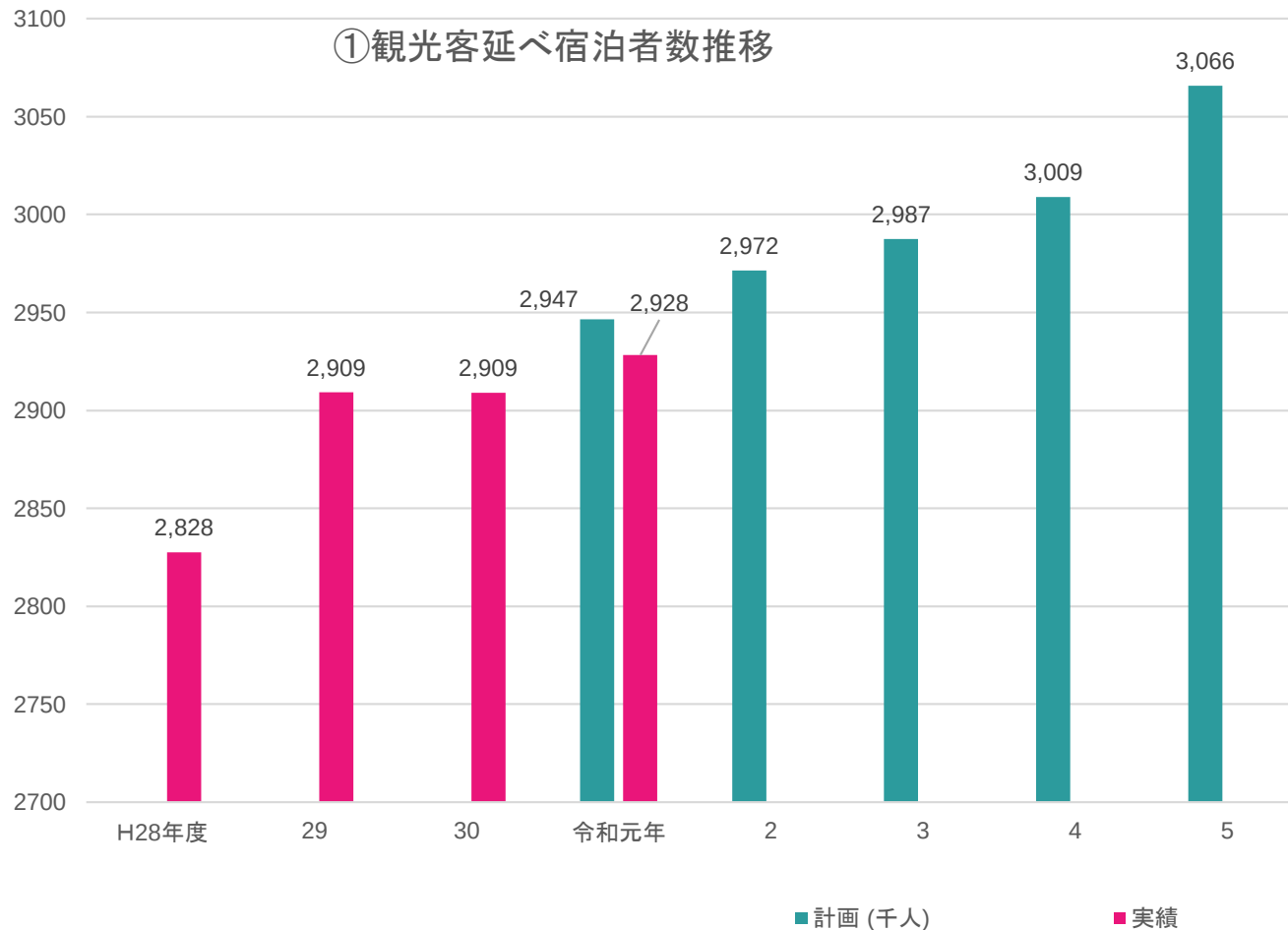
KPI(主要成長目標指数)

通年、冬期、夏期に対し計8種のKPIを設定しました。
今後は毎年この数値で成果を確認しながら進みます。



KPI(成長目標指数)① 観光客延べ宿泊者数

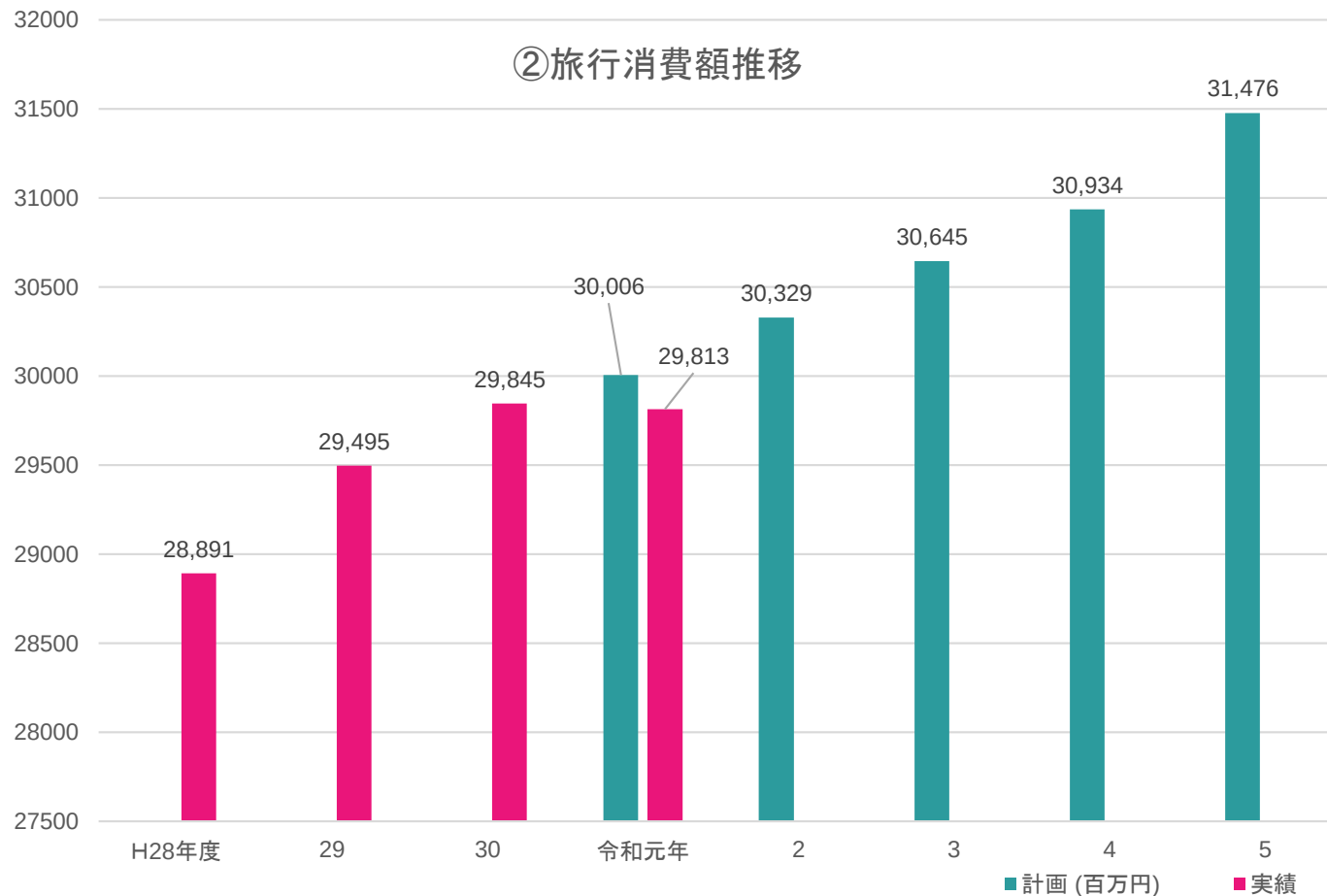
今期2.9百万人台から、近い将来に3百万人達成を予定



注:コロナ問題発生前段階での予測
出典:三市村調べ

KPI(成長目標指数)② 旅行消費額

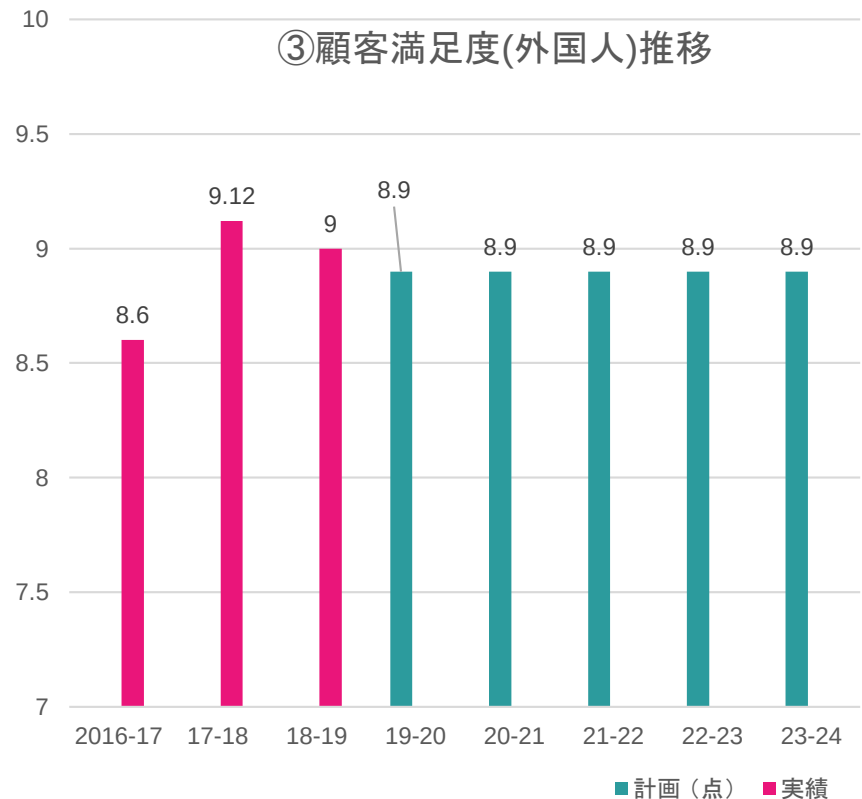
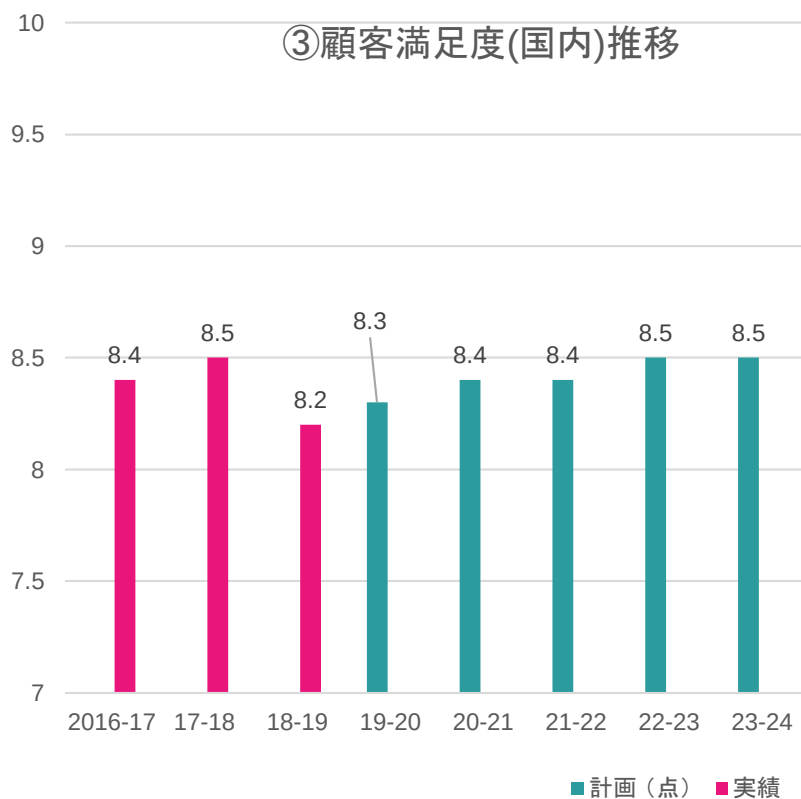
今期298億円から、近い将来に310億円台達成を予定



注:コロナ問題発生前段階での予測
出典:三市村調べ

KPI(成長目標指数)③ 冬期(スキー場)来訪者満足度

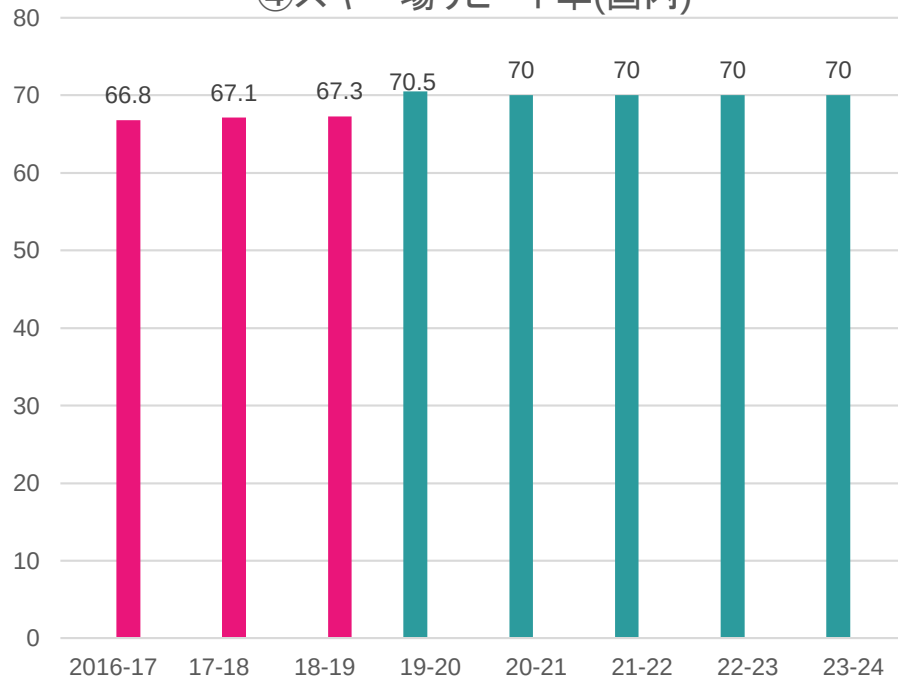
国内は8.5点達成を、外国人は8.9点確保を目標とする



KPI(成長目標指数)④ 冬期(スキー場)リピート率

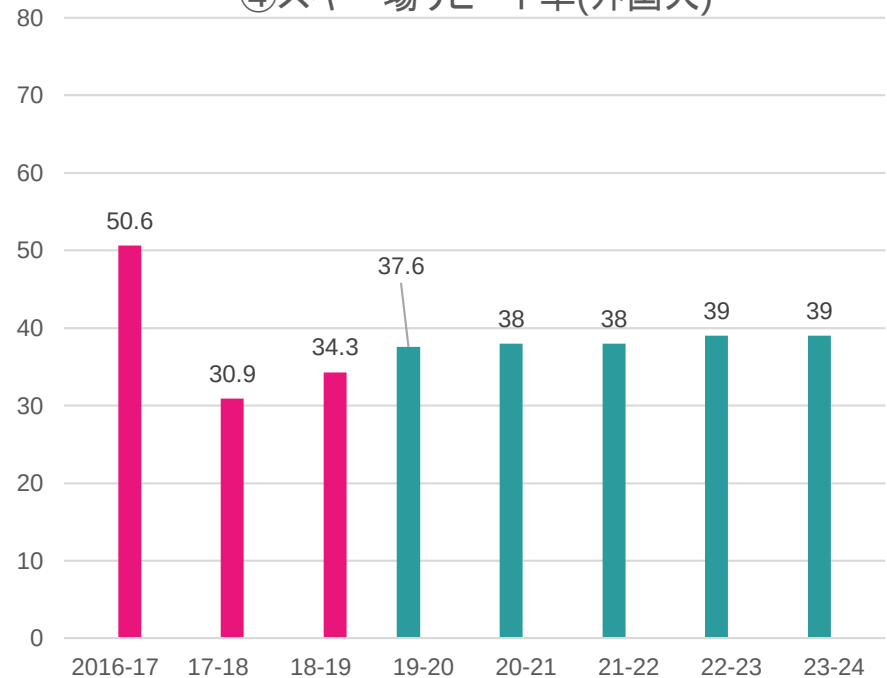
国内は70%確保を、外国人は39%達成を目標とする。

④スキー場リピート率(国内)



■計画 (%) ■実績

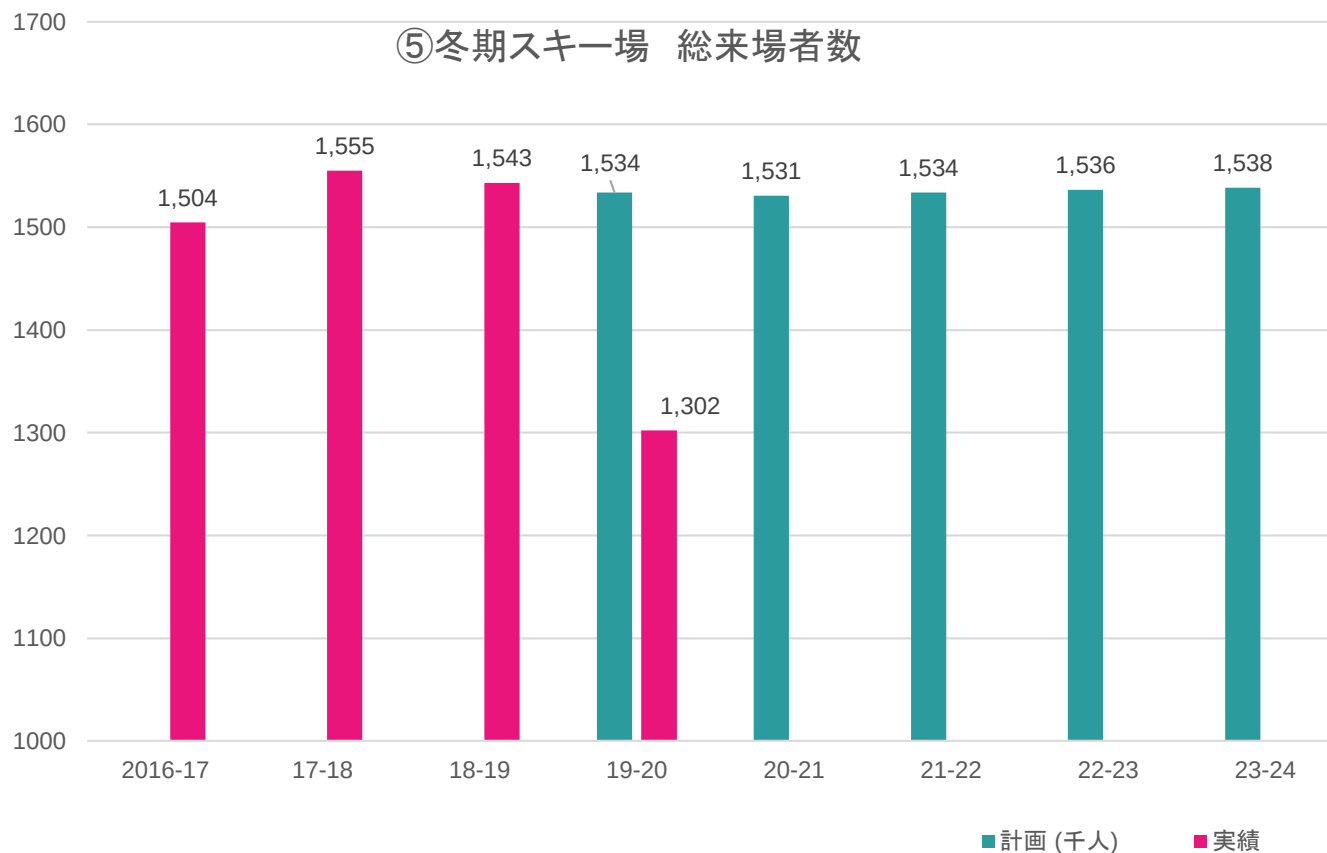
④スキー場リピート率(外国人)



■計画 (%) ■実績

KPI(成長目標指数)⑤ 冬期スキー場総来場者数

今期は歴史的小雪とコロナ問題で特に国内客が激減した。
国内人口の減少を見込み、インバウンド客で補い、150万人
台確保を目指したい。



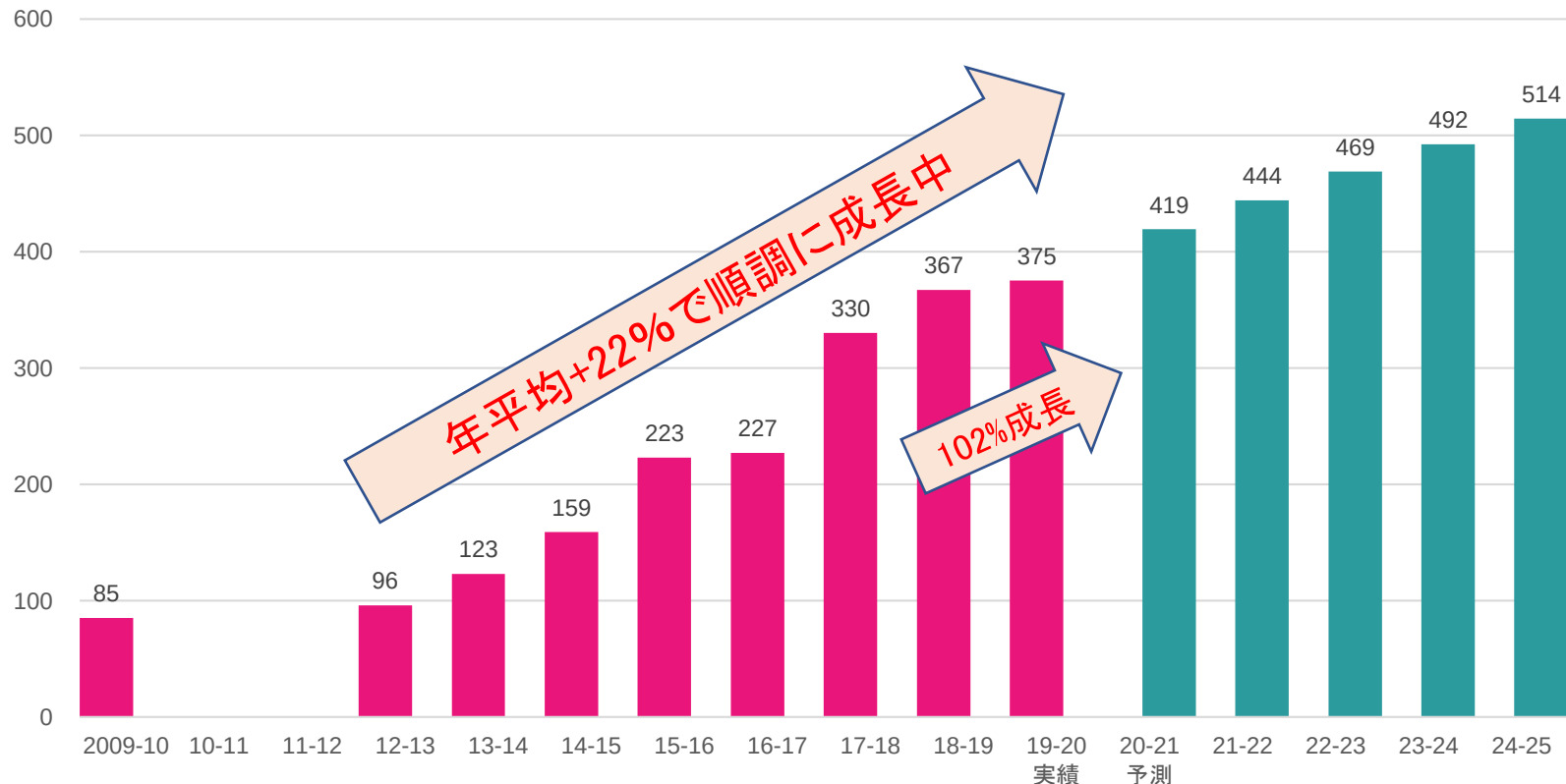
注:コロナ問題発生前段階での予測
出典:HVPB調べ

KPI(成長目標指数)⑥ ⑤の内インバウンド来場者数

今期は小雪とコロナ問題にもかかわらず、37.5万人(前年+2%)到達した。
コロナ問題如何ではあるが、近い将来に50万人を達成を目標としたい。

(千人)

白馬バレーエリア インバウンド来場者数の推移

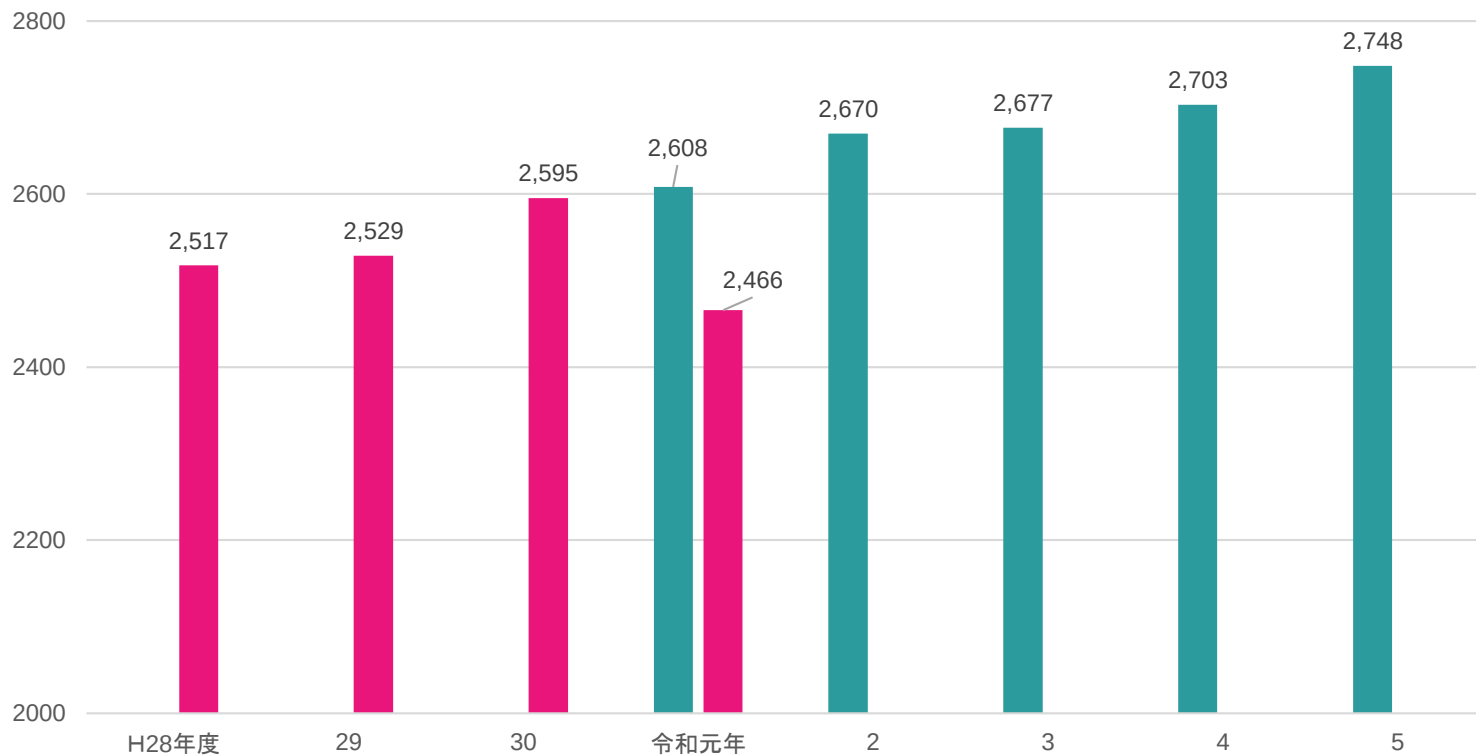


注: 白馬バレーは、爺が岳、鹿島槍、さのさか、五竜、Hakuba47、八方尾根、岩岳、杣池高原、白馬乗鞍、コルチナの10スキー場で構成
出典 HAKUBA VALLEY入込推移実績と将来推計

KPI(成長目標指数)⑦ 夏期観光客総来場者数

今期は夏期の天候不順により2.4百万人台まで大幅に減少したが、近い将来には2.7百万人台確保の水準を目指したい。

⑦夏期観光客 総来場者数

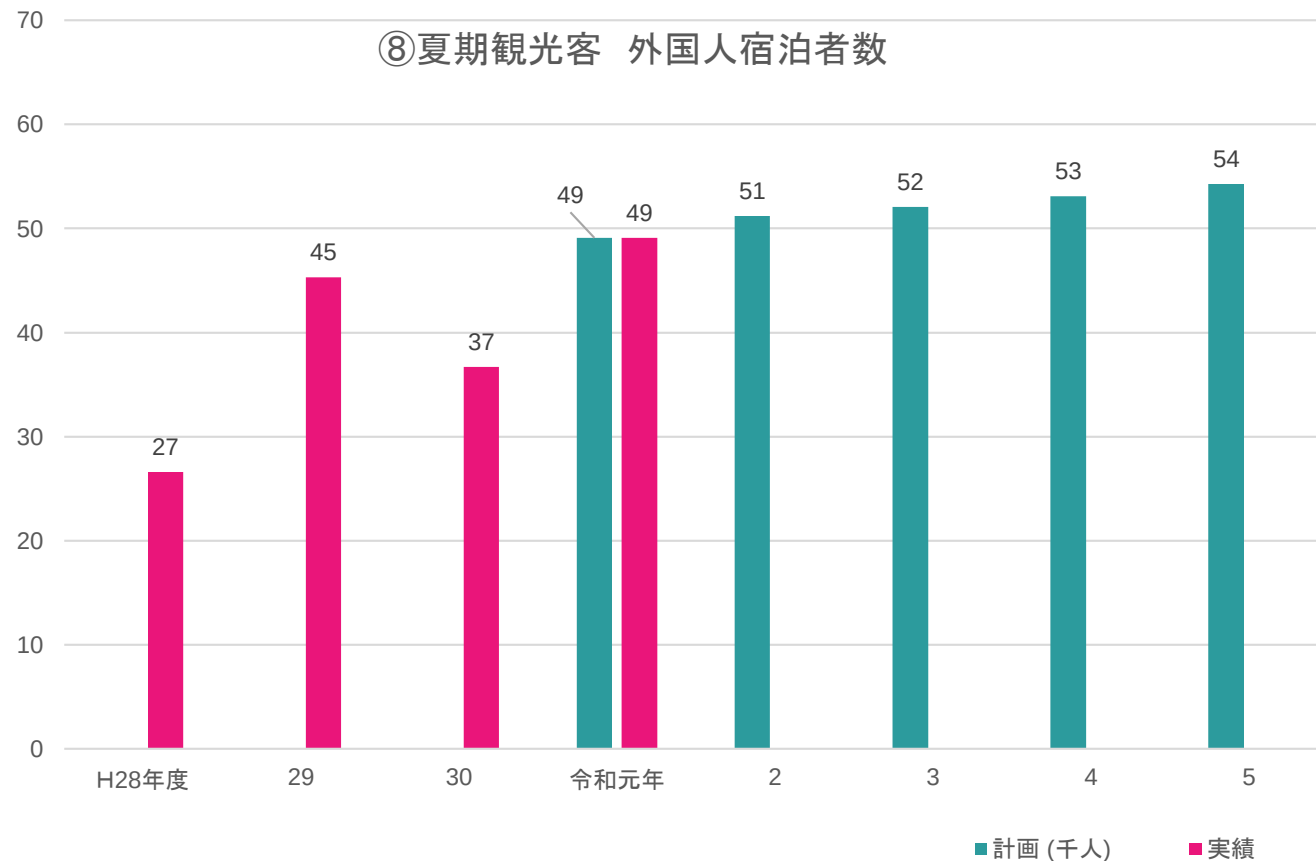


注:コロナ問題発生前段階での予測
出典:三市村調べ

■計画 (千人) ■実績

KPI(成長目標指数)⑧ ⑦の内外国人宿泊者数

27千人から成長過程にあり、近々に50千人台を達成を予定。



目次

- ◆ご挨拶
- ◆設立から今日まで
- ◆戦略と活動状況
 - ・インバウンドツーリズムと白馬エリアの概況
 - ・HAKUBA VALLEYの戦略
 - ・各小委員会の活動状況
- ◆KPI(主要成長目標指数)
- ◆**予決算概要**

予決算概要 - 決算

収入済額	32,929,503 円
支出済額	23,176,998 円
次年度繰越額	9,752,505 円

平成31年4月3日～令和2年3月31日

収入の部

(単位:円)

項目	内訳	予算額	収入済額	差異	摘要
1.会費	1号会員	21,000,000	21,000,000	0	大町市、白馬村、小谷村
	2号会員	11,000,000	11,000,000	0	大北地区索道事業者協議会
	3号会員	900,000	900,000	0	大町市観光協会、白馬村観光局、小谷村観光連盟
	4号会員	300,000	0	-300,000	
2.雑収入	預金利子	10,000	109	-9,891	八十二銀行白馬支店
(預り金)		0	29,394	29,394	事務職員給与からの預り金(源泉所得税)
計		33,210,000	32,929,503	-280,497	

支出の部

項目	内訳	予算額	支出済額	差異	摘要
1.事業費	1.ホームページ関係費	1,000,000	7,920	-992,080	プロバイダ利用料2019年11月分～2020年4月分
	2.プロモーション関係費	1,000,000	31,933	-968,067	HVT商標登録についての先行調査費(3市村にて保持しているHAKUBA VALLEYの登録商標の有効性を確認)
2.管理費	1.給与・手当	24,400,000	18,453,485	-5,946,515	事務職員4名分人件費
	2.法定福利費	4,000,000	2,528,714	-1,471,286	事務職員4名分社会保険料・労働保険料等
	3.退職金引当金	800,000	265,000	-535,000	事務職員1名分退職金積立
	4.事務所関係費	1,300,000	1,135,296	-164,704	事務所使用料(水道光熱費・電話FAXコピー使用料等)4月分～2月分
	5.需用費	240,000	271,544	31,544	(支払手数料)各種支払いの際、振込料 ¥28,262-
					(旅費交通費)各種説明会参加の際、交通費等 ¥32,888-
					(外注費)会議録原稿起こし委託料 ¥121,164-
					(会議費)視察団対応、賀詞交換会会費等 ¥19,010-
					(通信費)切手代・郵送料等 ¥3,926-
					(消耗品費)名刺、印鑑、事務消耗品等 ¥66,294--
	6.会計代行費用	400,000	480,155	80,155	会計顧問料9月分～、給与計算業務委託費、役員変更登記処理費用等
	7.法人税等	70,000	2,951	-67,049	税理士報酬に係る源泉税
計		33,210,000	23,176,998	-10,033,002	

注記 ※本会計処理は、現金主義による収支決算書にて処理しています。

予決算概要 - 予算

収入予算額 50,953,000 円
支出予算額 50,953,000 円

令和2年4月1日～令和3年3月31日
(単位:円)

収入の部

項目	内訳	予算額	前年度収入済額	差異	摘要
1.前年度繰越金	1.預かり金	29,394	29,394	0	前年度より
	2.繰越金	9,723,111	0	9,723,111	前年度より
2.会費	1.1号会員（3市村）	21,000,000	21,000,000	0	大町市、白馬村、小谷村
	2.2号会員（索道事業者協議会）	14,000,000	11,000,000	3,000,000	大北地区索道事業者協議会
	3.3号会員（観光3団体）	900,000	900,000	0	大町市観光協会、白馬村観光局、小谷村観光連盟
	4.4号会員（その他）	300,000	0	300,000	新社員会費
3.補助金（長野県）	1.デザインコード作成事業	3,000,000	0	3,000,000	補助率1/2
	2.3市村統合多言語対応HP作成事業	1,500,000	0	1,500,000	3市村統合多言語対応ホームページ作成 補助率1/2
	3.3市村統合多言語パンフレット作成事業	500,000	0	500,000	3市村統合多言語対応パンフレット作成 補助率1/2
4.雑収入	1.雑収入	495	109	386	預金利子他
計		50,953,000	32,929,503	18,023,497	

支出の部

項目	内訳	予算額	前年度支出済額	差異	摘要
1.事業費	1.デザインコード作成事業	6,000,000	0	6,000,000	県補助金3,000千円、HVT3,000千円
	2.ホームページ関係費	3,000,000	0	3,000,000	新HP作成費（県補助金3,000千円、HVT3,000千円）
	3.パンフレット作成費	160,000	7,920	152,080	プロバイター利用料、HPトップページ暫定設置費
	4.プロモーション関係費	2,000,000	0	2,000,000	パンフデザイン制作費/夏版はHVT単独事業として1,000千円（デザイン500千円、英語翻訳500千円）、冬版は県補助金500千円、HVT500千円にて作成
	5.BCルール策定事業	600,000	31,933	568,067	夏期アンケート調査費用
	1.給与・手当	1,000,000	0	1,000,000	ルールチラシ製作他
	2.法定福利費	29,450,000	18,453,485	10,996,515	事務職員6名分人件費（新規3名増員を予定）
	3.退職金引当金	4,590,000	2,528,714	2,061,286	事務職員6名分福利関係費
	4.事務所関係費	1,440,000	265,000	1,175,000	事務職員4名分退職金積立
		1,300,000	1,135,296	164,704	水道光熱費・電話、FAX、コピー使用料等
2.管理費	5.需用費	715,000	271,544	443,456	(支払手数料) 各種支払いの際振込料 ￥30,000- (旅費交通費) 説明会等参加交通費等 ￥50,000- (外注費) 会議議事録原稿起こし代 ￥250,000- (会議費) 懇談会参加費等 ￥25,000- (通信費) 切手、郵送料等 ￥10,000- (消耗品費) 事務消耗品 ￥100,000- (リース料) PC5台分 ￥250,000-
	6.会計代行費用	600,000	483,106	116,894	会計顧問料 ￥132,000- 社保等各種手続き業務料 ￥100,000-、給与計算等業務料 ￥288,000- 等
	7.法人税等	60,000	0	60,000	法人村民税等
	8.預り金支払い	29,394	0	29,394	源泉所得税
3.予備費	1.予備費	8,606	0	8,606	
計		50,953,000	23,176,998	27,776,002	

注記 ※本会計処理は、現金主義による収支決算書にて処理しています。

お問い合わせ先



〒399-9301

長野県北安曇郡白馬村北城6329-1 3F

一般社団法人 HAKUBAVALLEY TOURISM

Tel 0261-71-1898 Fax 0261-71-1899

www.hakubavalley.com